

## 第2次南砺市教育振興基本計画 第3回策定委員会会議録

1. 日 時 令和2年1月31日（金） 午後2時00分から午後3時10分
2. 場 所 南砺市役所井波庁舎 3階多目的ホール
3. 出席者
  - ・委員13名
  - 水上義行 委員長、岩井透 副委員長、山田誠 委員、森田正人 委員
  - 中川加夜子 委員、横山一乃 委員、玉井順一 委員、土原久美子 委員、
  - 舘英二 委員、長谷川総一郎 委員、山下郁子 委員、小森久美 委員、
  - 田尻正美 委員
  - ・事務局11名
  - 松本謙一（教育長）、村上紀道（教育部長）、山本悦司（文化・世界遺産課文化振興係長）、武田秀隆（教育部参事・こども課長）、氏家智伸（教育総務課長）、桜野高弘（生涯学習スポーツ課長）、水上武司（スキー国体推進室長）、安川絹枝（中央図書館長）、北島一朗（教育総務課副参事）、堀桂子（教育総務課主幹）、教育総務課主事（1名）
4. 欠席者
  - ・委員2名
  - 尾田慎一郎 委員 前田啓子 委員
5. 傍聴人数 なし
6. 協議事項 (1) 第2次南砺市教育振興基本計画（案）について

### ○開会

### ○委員長挨拶

（水上委員長）

第3回の策定委員会ということで実質的に最後の回となりますので、忌憚のないご意見をいただきたく思います。小学校がいよいよ4月から新しい学習指導要領の本格実施となり、新しい教科やそれに伴う活動が入ってきます。学習指導要領の改訂によって新しいことが次々と入ってくる中で、それをうまく活用したり、どのように成果をあげたりするかということは大変難しいと思います。そういったことについて学校は真剣に取り組んでいくので、教育委員会が協力・支援をして、かたちにしていっていただければと思います。今日はよろしく願いいたします。

### ○協議事項

※各課長から説明

### ○閉会あいさつ

（岩井副委員長）

南砺市では現在、市の第2次総合計画（南砺まちづくりビジョン）を策定していると聞いて

います。計画やプランがいくつあるか数えてみたら、約16課にわたって45程度あるようでした。教育部でもそのうちのいくつかの計画の策定に取り組んでいるということでもあります。皆さまのおかげでほぼ出来上がりつつある第2次南砺市教育振興基本計画が、市の今後5年間の教育・生涯学習、それから子育て、文化芸術といった分野の根幹を成していくと思っております。社会の変化は、私たちには経験のない、それから予想もできないような方向、そして速さで現れてきています。そのような中であるからこそ、この教育振興基本計画に則り、不変のものも大事にしつつ、行間に込められた思いも汲み取ったような政策が澁みなく実行されることを望んでいます。委員の皆さまには今日までに3回に渡って参加していただくとともに、運営にご協力いただき、感謝いたします。本当にありがとうございました。

(松本教育長)

水上委員長、岩井副委員長を始め、委員の皆さまには3回に渡ってご参加いただいただけでなく、資料を念入りに読み、それぞれのお立場から意見をいただき、本当に策定委員会のために尽力していただきました。ありがとうございました。策定委員会でいただいた意見を基に修正するとともに、どうやって実践していくかということが、次の大きな課題だと思っています。人口が少しずつ減ってお金が無くなってきている中でも、やはり教育を大事にして、市民や子どもたちに明るい希望を持ってもらえるような南砺市にできるのが、この教育部ではないかと思っています。今後、計画を実践していく中で、色々と思われることもあるかと思います。その時は、またご意見をいただいて、これからも支えていただければと思います。本当に委員になっていただき、ありがとうございました。これからもまたよろしくお願いします。

#### 質疑・意見

<p>策定委員</p>	<p><b>教育総務課所管</b></p> <p>10ページの⑤キャリア教育の推進については、修正していただいたところだが、文言を見ていると、小学校は小学校で、中学校は中学校でそれぞれ行っているというような書き方になっている。キャリア教育については、小学校から中学校、中学校から高等学校といった継続性・連続性のある学びというものが今後ますます求められていく。県の教育委員会でもそのような動きを持っていて、キャリアパスポートなるものを活用していきましようということを言っている。小学校のときにファイルを1つ作って、その中にキャリア教育に関わる学習したことを蓄積して、中学校へ引き渡し、さらに積み重ねて高校までも持っていくという流れを、来年度から行っていこうということになっているようだ。そこで、最後の「～形成していきます。」から「また、小学校から高等学校までキャリア形成が継続性・連続性をもって展開されるようキャリア教育の充実をはかります」というような文言を加えることを検討していただければと思う。</p>
-------------	--

事務局 策定委員	<p>そのように修正させていただく。</p> <p>11ページ、14ページの注釈に、キャリア教育、小中一貫教育、ICT教育、プログラミング教育の4つの教育に関する説明文がある。その中で最後のプログラミング教育だけが語尾が違うので、合わせた方がよいのではないか。13ページの【主な取組み】の①について、新聞記事では公共施設再編に関して相反するような方向性が出ていたように思うが、この方向性で記載して問題ないか。</p>
事務局	<p>市議会でも同じ指摘をいただいた。南砺市の教育委員会としてはこの記載のように進めているが、公共施設再編の議論を見て、市の方針と整合性がとれていないのではないか、この書きぶりも改めた方がよいのではないかというご指摘を受けた。そこで、現在の市の方針について内部で確認をした。この教育振興基本計画に書いてある方針で南砺市は進めていこうということで全庁的に話をしている。市民の皆さま、議会のみなさまにご理解をいただきながら、記載のとおりの方針で進めさせていただきたいと思っている。</p>
策定委員	<p>7ページの(1)の【現状と課題】2つ目の中点について、市のスクールソーシャルワーカーや適応指導員に関しては記載どおりで間違いはないが、学校からすれば子どもたちの不登校等の問題行動の解決には、スクールカウンセラーの存在が非常に大きい。そういった方々と連携を図りながらというような文言があってもよいのではないかと考えた。7～9ページは全てスクールソーシャルワーカーと適応指導員ということになっていて、スクールカウンセラーという文言が1回も出てきていない。10ページの一番上の中点のところに「県が全中学校区に配置しているスクールソーシャルワーカーとも連携をとりながら」という部分に、スクールカウンセラーを記載してもよいのではないかという気がする。</p>
事務局	<p>全体的な流れもあるので、そのあたりを確認して検討させていただきたい。</p> <p><b>生涯学習スポーツ課所管</b></p>
策定委員	<p>24ページの青少年健全育成活動への支援の【主な取組み】の①について、スペース的にも問題ないと思うので、もう少し具体的な事例の追加をさせていただきたい。8支部で組織されている市民会議で、各支部それぞれ独自の活動をしているので全ては書き切れないが、青少年健全育成の団体を運営している者として、責任を持って担当課長と検討する。具体的な事例を追加する、そのお許しをいただきたい。</p>
事務局 策定委員	<p>主立った事業を記載すればよいと思う。協議する。</p> <p>28ページの【参考指標】には国民体育大会と高校総体に関するデータしか書いていないが、全中には南砺市からは出場していないのか。小学校でもないのか。</p>
事務局	<p>小学校から全国大会に出場しておられる方もいる。</p>

策定委員	<p>高校総体だけでなく、全中もあるはずなのに、そのあたりが抜けているような気がする。小学校については28ページの【主な取り組み】①の midpoint 2つ目に「小学校との情報共有も図りながら」と書いてあるが、中学校については全く触れていない。</p>
事務局	<p>全中についても追記させていただく。</p>
事務局	<p>小学校も中学校も全国大会に出場している優秀な子どもが何人もいる。</p>
策定委員	<p>今の流れで全中についても追記するという事になれば、【参考指標】にも全中について追記されたらどうか。</p>
事務局	<p>確認させてほしい。</p>
事務局	<p>策定委員さんの言われることは十分理解できるので、計画書の中の文言は追加することを前向きに検討したい。指標については、たくさんあるものの中から絞り込んで記載しているので、検討はするが、結果については事務局にお任せいただきたい。</p>
策定委員	<p>分かる範囲でよいのでお願いしたい。</p>
策定委員	<p><b>こども課所管</b></p> <p>33ページの【取り組みの基本的方向】の4つ目の midpoint にある「保護者が欲しい数の子どもを安心して子育てできる」という文が、少し分かりにくい気がする。「生む」という言葉が抜けているので、「欲しい数の子どもを生み育てることができる環境づくり」や「欲しい数の子どもを生んで育てる」という表現ならまだ分かると思うが、どうか。</p>
事務局	<p>「望む数の子どもを安心して生み育てる」という表現で検討したいと思う。</p>
策定委員	<p>保護者が望むとか欲しいという考え方ではなく、子どもは授かるものだと思うので、その表現にも違和感を覚える。</p>
事務局	<p>持ち帰って課内で検討させていただきたい。</p>
策定委員	<p><b>文化・世界遺産課所管</b></p> <p>41ページの【参考指標】のアートで遊ぼう参加者数について、第1回策定委員会の時には100人で、第2回策定委員会の時には60人となっていたので、今回80人で20人多くなり、非常にありがたいと思う。あと気になるのが、42ページの【参考指標】の美術館入館者数について、平成30年度が20,137人、令和6年度の目標数が21,000人になっている。同ページの上の表では、平成29年の美術館入館者数が21,486人になっているので、令和6年度の目標値にこの数字はあまりにも寂しいのではないかと思った。少なく見積もって、平成29年の21,500人くらいでお願いできないか。</p>
事務局	<p>検討して記載する。</p>
策定委員	<p>46ページの文化財の現地研修（立野ヶ原の監的塚）の写真だが、右下の部分はどなたかの頭部だと思う。もう少し写真を小さくするか、他の写真が</p>

事務局	<p>あれば差し替えた方がよいのではないかと思います。</p> <p>写真を差替える。</p>
策定委員	<p><b>総括</b></p> <p>市の第2次総合計画（南砺まちづくりビジョン）の中の教育に関するページとこの計画の整合性はとれているのか。</p>
事務局	<p>総合計画は市の計画の最上位計画であり、教育振興基本計画は下に位置する。そのため、整合性をとるということは常に意識しているが、もう一度最終的に確認はしたいと思っている。</p>
策定委員	<p>総合計画には、例えば「学ぶことが楽しい」、「学校が楽しい」という文言が目標に記載されているが、そのような文言が教育振興期基本計画には記載されているのか。</p>
事務局	<p>総合計画の教育の部分は1～2ページくらいにまとめられており、委員さんの言われた文言は、強い印象を持ってもらうために使った文言である可能性もある。そのため、一般的に使う言葉とは違ってくるケースもある。しかしながら、総合計画に書いてある以上、今後もどこかで使うこともあるかと思うので、検討させていただく。</p>
策定委員	<p>9～10ページのふるさと学習の充実や、キャリア教育の中でもふるさと学習が大きな部分を占めるであろうことを考えると、地域の様々な素晴らしい人材を活用できるようなシステムや、それをコーディネートしていただく方がおられると非常に助かる。学校で人材を探してきたり、全てコーディネートしたりするのはなかなか大変なところがある。人材バンクなのか、コーディネーターなのか、そこまでのことを書いてよいのかどうかも分からないが、少なくとも地域の人材を有効に活用したふるさと教育やキャリア教育を実施するという部分はあってもよいのではないかと思います。</p>
事務局	<p>具体的なことをどこまで書くのかという問題があるので、地域の人材という言葉を入れるかどうかということも踏まえて、検討していく。</p>
策定委員	<p>人材バンクのようなものはあるのか。</p>
策定委員	<p>「まちづくり人材リスト掲載に関する回答書」という書類を提出したことがある。これは活かせるのではないか。むしろ、これを活かしておられるものと思っていた。</p>
事務局	<p>市民協働部の南砺で暮らしません課からの文書になる。学校のふるさと教育の中で、委員さんが言われたようなコーディネートする仕組みについては今のところないと思うので、今後の課題として受け止めていきたい。</p>